

## 4. 佐賀大学改革プランの策定（H27.1.21）

ゴールは、「プランの“作成”」ではなく、「改革の“実行”」である

### 【プランの必要性】

- 佐賀大学改革のこれまでの実施状況と今後の方向性を明確にする
- 第3期中期目標・中期計画の策定のための指針となるものが必要

### 【プランの実効性】

- ・ 社会の変化や中期目標・中期計画の変更等に柔軟かつ迅速に対応するため常に見直す
- ・ 客観的なデータに基づき、透明かつ公正な評価により改革を推進する
- ・ できるものから主体的かつ迅速に実行していく

### 【プランの作成方針】

- ☆ 本学の大学改革における諸施策を戦略としてまとめたもの。
  - 特色・強みの更なる発展 ⇒ ミッションの再定義を踏まえた機能強化
  - 課題解決に向けた取組 ⇒ 学長ヒアリングによる教育改革の推進
  - 社会的な役割の強化 ⇒ COC機能強化の取組
  - 将来構想 ⇒ 全学的な組織再編基本構想 など
- ☆ 佐賀の地域に必要とされる「佐賀の大学」を目指すための指針。
- ☆ 学生・卒業生に愛される「面倒見の良い大学」を実現するための指針。